

第21回アビリンピック福井大会  
ビルクリーニング（初級コース）モップの部

◎一般的な注意事項

1. 課題は標準時間が定められています。  
標準時間 8分
2. 使用する資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
3. 競技採点は、作業準備、作業動作（手順）、挨拶、後始末、全体評価、作業時間の6面から審査し、加点方式によって行われます。
4. 作業に適した服装をしてください。
5. 作業開始の指示は審査員が行います。「始めます」「終わりました」の申告は、競技者自身で行ってください。
6. 原則として標準時間が過ぎても作業は完成させて下さい。参加人数により10分で打ち切りとする場合もあります。
7. 作業は使用した資機材を手入れした後、指定された場所へ片付けて完了とします。

◎課題における注意事項

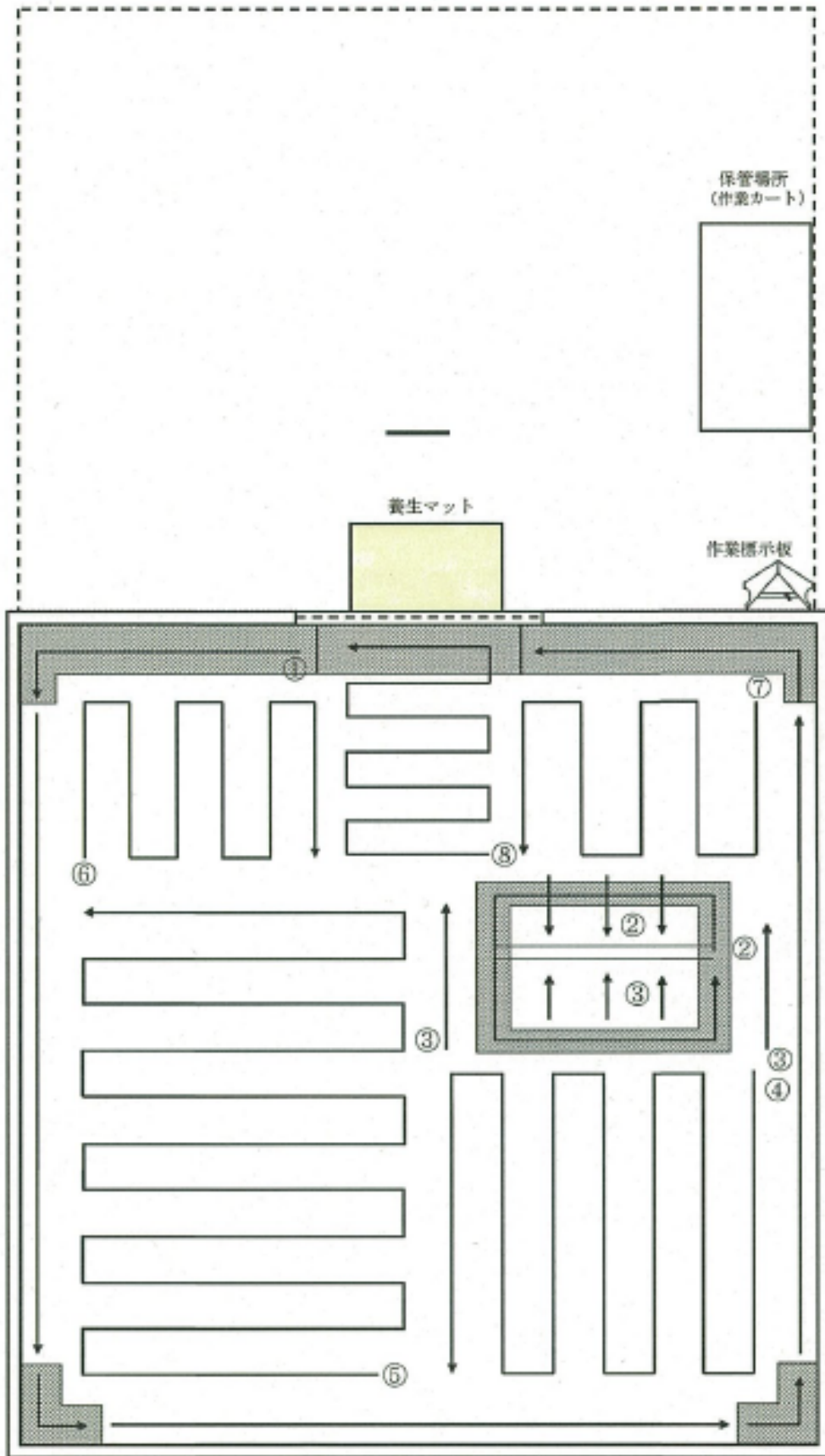
1. 試技区画内の床面を拭く作業です。
2. 作業面積は12㎡（4m×4m）とし、幅木により区画とします。
3. 幅木の上には壁があるものとして作業を行ってください。  
注意）競技者の身体や資機材を幅木（枠）より外に出さないように注意しながら作業をしてください。
4. モップの柄は、長さが調節できるので、作業前（資機材を準備する時）に自分で操作しやすい長さに調節してください。
5. 作業場所にある机は移動させないでください。
6. 使用した資機材は、指定された位置へ片付けてください。

課題 ビルクリーニング初級コース（モップの部）

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材を準備する	作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている。 モップ柄の長さを調整する。	資機材が過不足なく準備されているか点検し、異常があれば申し出る。	資機材の点検終了後審査員の指示に従い作業準備に入る。
必要な資機材	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 作業カート 1台</li> <li>• 作業表示板 1個</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 柄（伸縮型） 1本</li> <li>• モップ房糸 1枚</li> </ul>	
競技開始の挨拶	所定の位置に立ち、始めますと挨拶を行い、競技を開始する。	片手をあげ「始めます、開始します。」等の開始の宣言をする。	作業開始を申告する。
作業準備	作業カートを保管場所から作業場所の近くへ移動し、作業標示板を立てる。	作業の邪魔にならず通行人からよく見える場所に立てる。	
入室の挨拶	入り口にて室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します。」と挨拶し、一礼して入室する。	
イス上げ	作業前にイスを机の上あげる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 机は動かさない</li> <li>• イスは机の四隅からはみ出さないように正しくのせる。</li> </ul>	
水拭き(モップ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①水拭きモップをもち、コート入口の養生マットの上でセットする。</li> <li>②コート全体面積を拭く。</li> <li>③幅木側、机の下、中央部の順に拭く。</li> <li>④コーナー周りとは机の足元は房糸に手を添えて拭く。</li> <li>⑤モップは時々裏返し、モップ全体を使って拭く。</li> <li>⑥モップは横拭きとし、後退しながら拭く。</li> <li>⑦拭き終わったら養生マットの上でモップを外し柄とともにカートへ納める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 拭き残し、拭きむらのないようにする。</li> <li>• 横拭きは柄の先端に親指を添えるのを基本とする。</li> <li>• 幅木、机の脚部にふれないようにする。</li> <li>• 拭いたところを踏まないようにする。</li> </ul>	
イスを下す	安全に音をたてないようにおろす。	• 足の上に落とさないように注意する。	
点検	指差し又は目視点検を行う。	• 隅の拭き残し、水滴、足跡等の点検を行う。	
退室の挨拶	出口にて室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました。」と挨拶し、一礼して退室する。	

資機材の片付け	作業標示板を作業カートにもどし、作業カートを保管場所に戻す。	元の位置に戻す。	
競技終了の挨拶	所定の位置に立ち終了挨拶を行う。	「終わりました、終了しました。」等の終了の宣言をする。	作業終了を申告する。

# モップ拭き作業手順



注：印は手を換える箇所を示す。  
 水拭き回数を入れたものではありません。